

項目	確認事項	届出内容
<b>基本情報</b>	大学等名1(代表大学等)	同志社女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ドウシシャジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107573
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップⅡ
	学部・研究科等名	薬学部
	担当教職員名・役職	白井 隆一・教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	3
	受入企業等数	1
	受入企業等名	一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3 (汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
<b>要素①</b>	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	医薬品の製造工程管理や品質管理において必須となる標準物質を製造・頒布している財団での業務体験を通して医薬品規制への関与・寄与の一端を学ぶ。
<b>要素②</b>	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している
		6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している
		8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
		大学 学部4年
2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	学部学科の専門分野の学びが社会でどのように実践されているかを夏期休暇期間中5日間体験し、学ぶ。単位認定においては、2単位を付与している。	

項目	確認事項	届出内容	
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している	
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容		
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている	
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容		
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	品質管理、安全性管理等に係る業務の流れ、および医薬品の品質管理に必須の日本薬局方標準品の品質評価、製造、頒布等の業務の流れを把握するとともに、関連する各種専門用語の意味を理解する。	
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップでの就業体験に関するプレゼンテーションを行う。	
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	就業体験最終日に担当教員が訪問し、学生のプレゼンテーションを聴講するとともに、受入先団体職員および学生へのヒアリングを行っている。	
	要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
		4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み			
4-3.上記回答内容に関する詳細		パワーポイントによるインターンシップ成果報告会を薬学部在学生および教員を対象として行い、各学生の発表、個別の質疑応答、研修全体のフィードバックをおこなった。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	一財) 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団において、5日間のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただいたうえで、そのニーズにも応えられるようにするために、受入企業と協力してプログラムを設計している。また、インターンシップ中も本学教員と受入企業担当者との面談の場を設けることで意見を適宜伺い、受入れに係る負担軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://kyomu-web.dwc.doshisha.ac.jp/cam3/slbsbdr.do?value(risyunen)=2023&amp;value(semekikn)=1&amp;value(kougicd)=719900&amp;value(crclumcd)=">https://kyomu-web.dwc.doshisha.ac.jp/cam3/slbsbdr.do?value(risyunen)=2023&amp;value(semekikn)=1&amp;value(kougicd)=719900&amp;value(crclumcd)=</a>
問い合わせ先	大学等名	同志社女子大学
	担当部署名	薬学部・薬学研究科事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0774-65-8477
	メールアドレス	<a href="mailto:yakugaku@dwc.doshisha.ac.jp">yakugaku@dwc.doshisha.ac.jp</a>